

2

問題

次の日本語を(1)は全文、(2)は下線部のみ英訳せよ。(50点)

- (1) 近頃は海外旅行をする日本人が多く、どこへ行っても日本人に出会う。おまけによほどの辺地にでも行かない限り、滞在するホテルもそこでの食事も日本のものと大差はないので、日本にいるような気になることが多い。(25点)
- (2) 成功するために人が支払う代償は、ストレス、生活様式、他人との関係という点から見て、大変なものである。だが、成功した人は、どれだけ苦労を経てきても、その代償で得たものに満足しているから、そうは思わないらしい。他方、たいていの人は時としてそれを痛感するのである。(25点)

解答

- (1) Many Japanese (people) travel overseas today and we run into them wherever [no matter where] we go. On top of that, unless we visit a very remote place, the hotels we stay at and the meals served there are not very different from what we get in Japan. We often feel as if we were still in Japan.
- (2) The price people pay for success is enormous in terms of stress, lifestyle, and their relationships with others. However, successful people, no matter how much trouble they have had, do not seem to feel that way, because they are satisfied with what they have got in exchange for the price they have paid. On the other hand, most people sometimes feel it keenly.

別解

- (1) These days so many Japanese travel abroad that we see them wherever we go. Moreover, the hotels and food are much the same as in Japan, unless we go to a really out-of-the-way place, so we often feel as though (we were) traveling in our own country.
- (2) It seems, however, that those who have succeeded do not think so [feel that way] even if they have had great trouble (doing so), since they are content with the things they have gained. By contrast, most of us sometimes fully recognize the price we pay.

解説

- (1) **-everの表現や譲歩の構文を使いこなす**

■組み立てのポイント

- 「海外旅行をする日本人が多く、どこへ行っても…する」は、「…する日本人が多い」と「どこへ行っても…する」を and や so で並列的に結んでもよいし、これらの部分には相関関係があるので、so ~ that … の形にしてもよい。
- 「よほどの辺地にでも行かない限り、～は日本のものと大差はない」は、接続詞 unless … (…しない限り；もし…しなければ) を用いるとよい。また日本語ではこの部分の最後が「…ので」となっており、「日本にいるような気になる」の理由のように書かれているが、**全体の文意を考えると、第1文とこの部分を合わせたもの（「どこへ行っても日本人に出会うこと」と「ホテル**

や食事が日本のものと大差ないこと」)が「日本にいるような気になる」の理由である。したがって「よほどの辺地にでも行かない限り～と大差はない」の箇所のみを because 節などにして「日本にいるような気になる」に続けるのは適切でない。「～と大差はない」まででいったん文を切って、「日本にいるような気になる…」は新たな文として書き始めるか、～, so … の形にするのがよい。機械的に一文ずつ直訳してしまうと、全体を読んだ時の話の流れと合わなくなってしまうので注意しよう。

- 「日本にいるような気になることが多い」We often feel as if [though] … とする。as if 節の中は、主節と同じ時の事柄を述べる場合、話し手が非現実だと考えていれば仮定法過去、事実だと考えていれば直説法を用いる。本問の場合は事実と反するたとえなので、「日本にいる」の時制は仮定法過去が適切である。

■ 語句・表現

- 「海外旅行をする日本人が多い」は「多くの日本人が海外旅行をする」と考えて many Japanese (people) travel abroad [overseas] とするのが簡潔だが, there are many Japanese who travel overseas のように表現してもよい。
- 「近頃は」は現在時制の文なので these days や nowadays や today を使う。
- 「どこへ行っても」「…しても」は「譲歩」を表す。wherever we (may) go ; no matter where we go ; everywhere we go などとする。なお, no matter where は wherever に比べて強意的な表現である。
Ex. *Wherever* she may go, she always wears that blue hat. (どこへ行くにも、彼女はいつもあの青い帽子をかぶっている。)
- 「日本人に出会う」の「～に出会う」は see ～ や meet ～。あるいは「予想していないのに偶然出会う」というニュアンスを出すために run into [come across] ～ としてもよい。
Ex. I *ran into* an old friend at the concert. (コンサートで偶然旧友と出会った。)
ここの「日本人」は、前の many Japanese を受けて them とする。また、この文は日本人が書いたものと思われるので, we see each other (お互いに) のようにするのもよい。
- 「おまけに」 moreover ; besides ; on top of that など。
- 「よほどの辺地に行く」の「辺地」は「人里離れた所」という意味。「人里離れた」という意味を表すには形容詞 remote が最も一般的で, a remote place で「辺地；僻地」となる。remote の他には far-off や out-of-the-way という形容詞もある。「よほどの」は very や really で表せる。
- 「滞在するホテル」the hotels we stay at が文字通りの訳だが, we stay at は文脈から明らかなので省いてもよい。
- 「そこでの食事」the meals [food] served there や the meals [food] they serve (us) となるが、上記の「滞在するホテル」と同様、文脈上明らかな served there は省略可能。
- 「日本のものと大差はない」の「～と大差はない」は、動詞 differ を使えば do not differ much from ～ となるし、形容詞 different を使えば be not very different from ～ となる。あるいは「～とほとんど同じだ」と考えると be much the same as ～ ともできる。「日本のもの」は those (= the hotels and food) in Japan が簡単だが、他に what we get in Japan (日本で手に入れられるもの) のようにすることもできる。
- 「日本にいるような気になる」は feel as if [though] we were still in Japan とする。still は「(海外にいるはずなのに) まだ；相変わらず」という意味。「日本」は「自分の国」と考えて (we

were) traveling in our own country でもよい。



発展

この表現を押さえておこう！

☆ **unless** …「…しない限り；もし…しなければ」は、主節の内容に関する‘唯一の例外的条件’を表すので、if … not よりも強意的である。

Ex. Your father won't survive *unless* the doctors operate on him right away.

(医師たちが直ちに手術を実施しない限り、あなたの父は助からない。)

同じ内容を逆に表現すれば、以下ようになる。

≡ Your father will survive *only if* the doctors operate on him right away.

(医師たちが直ちに手術を実施する場合にのみ、あなたの父は助かる。)

(2) no matter how [however] … / not が示す否定のスコープについて確認する

■組み立てのポイント

- 第1文は「成功者はそのように考えないらしいが、それは…だからだ」と読み換え、「それは…だからだ」の部分で、‘理由・原因’を表す because や since を用いて表すとよい。ここで気をつけたいのが、文を組み立てる際には、否定のスコープを明確にすること。ここでは、「それは…だからだ」の部分には否定がかからないようにする必要が出てくる。否定のスコープを明確にするために、because や since の前にコンマを打つとよい。
- 「どれだけ苦労を経てきても」は、no matter how [however] much trouble they have had [gone through ; experienced] や whatever trouble they have experienced を用いる。また、「別解」のように even if [even though] they have had great [lots of] trouble (doing so) と、譲歩構文で表現することもできる。‘条件・仮定’に基づく内容を導く even if を用いれば、「(実際にはどうかかわらないが) 苦労を経てきたとしても」というニュアンスになり、「事実」に基づく内容を導く even though を用いれば、「(実際に) 苦労を経てきたにもかかわらず」と事実として表現していることになる。

■語句・表現

- 「成功した人」successful people, または関係代名詞を用いて those who have succeeded としてもよい。
- 「代償」price ; cost
- 「その代償で得る」は「その代償と交換に得る」と考えて get in exchange [return] for the price などとする。単に gain (for the price) でもよい (for は‘交換’の意味を表す前置詞なので、for the price は「その代償と引き換えに」の意になる)。
- 「～に満足している」be satisfied with ～ ; be pleased with ～ ; be content with ～
- 「そう思う」think so ; feel that way
- 「他方」on the other hand ; by [in] contrast
- 「たいていの人」most people ; most of us
- 「～を痛感する」feel ～ keenly [acutely] などの他に、fully recognize ～ (～をはっきりと認識する) でもよい。



発 展

この表現を押さえておこう！

☆ **No matter how much trouble they (you) have had** (どれだけ苦労を経てきても)

この much は‘数量形容詞’と呼ばれる much の用法で, much, many のような**数量形容詞は修飾する名詞をすぐ後に伴う**ので, (×) **no matter how much** they have had **trouble** のように分離することはできないことに注意。

Ex. No matter how *many mistakes* you may make when learning to speak English, you shouldn't worry too much. (英会話を習っている時にどれだけ多くのミスをして、あまり気にかけてはいけません。)